

第21回グッドエイジング健康セミナーレポート

こころとからだの免疫学3

知らないと損をする！

40歳からの免疫力

日時：2010年6月13日（日）

会場：新宿明治安田生命ホール

梅雨の晴れ間で、さわやかな日曜日の午後に、開催されました。会場は、定員いっぱいの満席でした。

40歳からの健康法がテーマでしたが、20代の方も多く、老若男女を問わず、関心の高さを感じました。

1部は、安保徹先生に、病気の成り立ちについて、4つのキーワード①自律神経 ②体温 ③白血球 ④エネルギー生成 から紐解いていただき、がんになったときの対応法などをお話いただきました。

2部では、安保徹先生と松永敦先生の「生活習慣を見つめ直した実体験」や最新の研究テーマなどのお話がありました。安保先生と松永先生、進行の福井氏とのユーモアあるやりとりで会場は笑いに包まれていました。



講師： 新潟大学大学院教授
安保 徹 先生

《プロフィール》

1947年青森県生まれ。東北大学医学部卒。96年に白血球が自律神経の支配下にあることを解明し、以降、200をこえる英文論文を発表。『乳酸菌生成エキス』の腸管免疫調整効果の論文も発表している。精力的な活動を続ける世界的な免疫学者。著書に『免疫革命』（講談社インターナショナル）、『かたよらない生き方』（海竜社）などがある。



ゲスト： 大北メディカルクリニック院長
松永 敦 先生

《プロフィール》

1960年大阪府生まれ。関西医科大学卒。大阪大学医学部耳鼻咽喉科にて研修後、東京大学医学部音声言語医学研究施設にて喉頭生理学を研究。室町時代から続く医師の家系の36代目。専門の耳鼻咽喉科にとらわれない全身の健康相談もおこなう。『乳酸菌生成エキス』を臨床で活用している。

司会： (株) ビーアンドエス・コーポレーション代表取締役社長
進行： 福井 正勝 氏

《プロフィール》

日本のヨーグルト事業の草分け的存在である正垣角太郎を祖父にもち、大正時代からつづく「乳酸菌発酵技術」の研究開発を受けつぐ。現在は『乳酸菌生成エキス』の普及につとめる。

